

ニューズレター 2009 年度第 2 号

日本音楽表現学会 2009 年 11 月 30 日発行

2010 年度会長・理事選挙特集

目 次

	頁
1. 【巻頭言】人が財産と言えるような「音楽表現丸」を	佐々木 正利 2
2. 2010 年度会長・理事選挙	坂東 肇 3
ごあいさつ	3
1) 選挙管理委員会の任務	3
2) 選挙日程	3
3) 選挙実施方法（付・選挙規定）	3
4) 選挙公示	4
5) 会長・理事の推薦・立候補に関する手続き（付・関係各種書式）	4
6) 2010 会長・理事選挙被選挙・選挙有資格者名簿	6
3. 【随想】私の音楽表現活動の背景	橋本 悦子 7
4. 新入会員の紹介	8
5. 日本音楽表現学会後援 会員によるコンサート案内	9
6. 会員による出版	11
7. 会員からの寄贈	11
8. 学会論文集『音楽表現学のフィールド（仮）』の出版について	杉江 淑子 12
9. 事務局からの様々なお知らせとお願い	12
1) 音楽表現学』Vol.6 刊行	12
2) 会費納入について	12
3) 正しいメールアドレスをお届け下さい！	12
4) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法	12
5) ニューズレターへの投稿	13
6) 学会の会員サポート制度をご活用下さい。	13
7) 「入会申込書」「退会願」「コンサート等後援願」の書式	13
10. 日本音楽表現学会第 8 回大会のご案内	14
11. 編集後記	14

日本音楽表現学会

所在地：〒616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-4-3-801 安田香気付

Tel. & Fax. 078-360-1443

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmexs/>

年会費（5000 円）の振り込み→郵便振込口座：01370=6=78225 日本音楽表現学会



【巻頭言】 人が財産と言えるような「音楽表現丸」を

佐々木 正利 (声楽・合唱指揮/副会長)

ニューズレター本年度第2号は選挙特集です。この公示によって、来年度総会で新たな船出をする「音楽表現丸」(言:土門理事)の舵取り役を選出・承認する一連のスケジュールがスタートするわけですが、理事として残すところ半年の任期にある今、心の思いをアトランダムに書かせていただきます。

いたずらに自己規制することなく常に謙虚な意欲を有すること—これは私のモットーであり、また多くの後輩たちに投げかけてきた言葉です。こんなことはできない、こんなことはおこがましくてやってはいけない、と自らに枷をはめてしまう。バッハやピカソがもしそうだったなら、私たちは人類の貴重な財産を失っていたでしょう。

キャノンの外国人社員第一号だった須田アルナ・ローラさんというインドの方は、インド人はすべてに対し「自分の思いは実現できる」と育ってきたのに、日本人は何かというと「しょうがない」という言葉を使うと述べています。なぜか自分で自分の力を放棄しているように見えたと言っていました。さらに彼女は、日本人は人と同じであるかどうかを気にするが、インド人は人と違うことが重んじられているとも。インドでは「多彩性」への、日本では「同質性」へのこだわりが強いようです。

「音楽表現丸」は多様な価値観を提示し、認めあう舵取りをして、荒波を乗り越えていきたいと思ひます。

ところで、最近学生たちを見ていて少々心配になることがあります。それは知的には大変優秀なのですが、コミュニケーション能力や対人関係処理能力に欠ける学生が散見されることです。また自ら主張することをためらう学生も少なくありません。たとえば、教授した授業内容を確実なものにさせるため、それに関するディベートを提案し、ペアを組んでやりなさいと指示しても、相手を見つけることができない学生が毎回何人か出てきます。さらに内容に関する意見を求め拳手を募っても、押し並べて大勢がうつむいてしまうのです。これが、仮に「大学の教員の指示にいちいち従ってられるか」といった若者らしい反抗や対峙の姿勢から出てきたものならむしろ頼もしいのですが、「すみませんが、相手になつてもら

えませんか?」とひと言発すれば良いだけなのに、それすらできない、人と話せない、人と関わることがとても苦痛、という理由でポツンと佇んでしまう若者を前にしますと、これから先、大変な生活を送るようになるよ、と本当に心配になります。

「音楽表現丸」は知を磨くだけでなく、積極的に意見交換を行い、協同的舵取りをして、荒波を乗り越えていきたいと思ひます。

さて、先日ふと目にした警察関係の月刊誌に、2年前まで北海道警察の刑事部長を務めておられた中川正浩さんが、道警には「刑事の誓い」というものがあると書いておられました。これが中々含蓄に富んだ内容だったのでここで紹介させていただきます。

- 社会正義のために ~ これが我々の使命である。
- 打てば響く ~ これが我々の感覚である。
- 腰軽く粘り強い ~ これが我々の根性である。
- 心と心の触れ合い ~ これが我々の誠意である。
- 物からものを聞く ~ これが我々の科学である。
- 話し上手より聞き上手 ~ これが我々の技術である。
- どんな役にも誇りを ~ これが我々の組織である。

学生紛争の真ただ中、1960年代後期に書かれた誓いだそうですが、現在もまったく色褪せてはいませんし、警察官のみでなく何の職業にも通用しそうな内容です。

「音楽表現丸」は社会正義には馴染まないかもしれませんが、上の6つの項目を意識した舵取りをして、荒波を乗り越えていきたいと思ひます。

最後に、私が最も尊敬する指揮者ブルーノ・ワルターが、如何なる名曲でもその指揮者の水準まで下がる、と言いました。これはとても怖い言葉です。「音楽表現丸」がいかに優秀な人材を集めても、関係者の意識・レベルによって発展もし、衰退もすることを示しているからです。

人が財産と言えるような音楽表現学会であり続けることを心底願ひ、一意専心、これからも学会のために尽くします。

日本音楽表現学会 2010 年度会長・理事選挙

選挙管理委員長 坂東 肇

ごあいさつ

2010年8月1日～2012年7月31日任期の会長・理事選挙は、総会での決定を受けて、井上朋子、中磯子、坂東肇の3名が選挙管理委員会のメンバーとなり、業務を担当することになりました。全員選挙管理委員会の経験がありません。初めてですので、間違いが起らないように慎重に取り組みたいと考えています。

委員会の任務は以下の6点です。前回の選挙の日程を参考に、みなさまのご協力を得ながら、任務を滞りなく進めていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願い致します。

1. 選挙管理委員会の任務

- 1) 選挙日程の作成
- 2) 選挙資格者及び被選挙資格者名簿の作成
- 3) 選挙の公示
- 4) 投票用紙の作成・送付
- 5) 投票用紙の回収・開票
- 6) 選挙結果の報告
- 7) 2010-11 年度役員決定の事務手続き

2. 選挙日程

選挙公示	2009年11月30日(月)	於:「ニューズレターNo.2」誌上
推薦・立候補受付期間	2010年1月8日(金)～2月8日(月)	当日消印有効
被選挙人名簿、投票用紙等の作成、送付	2010年2月13日(土)	於:学会事務局
投票期間	2010年2月15日(月)～3月15日(月)	当日消印有効
開票・選挙結果を会長へ報告	2010年3月20日(土)	於:学会事務局

3. 選挙実施方法:以下の規定に基づいて進めます。

日本音楽表現学会選挙規定

1. 選挙方法は無記名投票による。
 2. 投票権者の確認は、返信用封筒に記された発信人名によって行う。発信人名の記入が無いときは、封入されたすべての投票は無効とする。
 3. 投票権者は、選出しようとする者の氏名を選挙管理委員会指定の投票用紙に自ら記入し、これを定められた期日までに委員会に到着するように送付しなければならない。理由の如何を問わず、代理投票は認められない。
 4. 投票用紙には、定められた人数以内の被選挙人名を記入するものとし、これを超えて記入した場合は全部無効とする。
 5. 被選挙人名の記載が不明確な票については、選挙管理委員会が有効か無効かの判定を行う。
 6. 投票用紙または投票用紙用小封筒に、投票者名が特定でき
- る記載がなされているときは、その投票はすべて無効とする。
7. 選挙管理委員会は、当選者、次点者および次々点者の氏名と順位、得票数を選挙結果報告書に記載し、開票に立ち会った委員全員の署名を付して会長に提出するものとする。
- 附則
1. 役員任期は当該年度 8月 1日から始まるものとする。
 2. 役員に欠員を生じたときは、就任の日から6カ月以内ならば次点者を繰り上げ当選とし、6カ月を越えた場合には、原則としてすみやかに選挙を行い、これを補充する。但し、その任期は前任者の残任期間とする。
 3. 本規定は2004年2月1日から実施する。

4. 選挙公示：選挙規程に基づいて、2010年度役員選挙を以下のように公示します。

<p>2010年度役員選挙公示</p> <p>2009年11月30日</p> <p>日本音楽表現学会会員のみなさま</p> <p>日本音楽表現学会選挙管理委員会</p> <p>日本音楽表現学会会則第11条、12条および、日本音楽表現学会役員選出に関する内規に基づき、2010-11年度の役員選出のための選挙を右記のように行います。</p>	<p>記</p> <p>選出役員：会長1名、理事6名</p> <p>任 期：2010年8月1日(日)～2012年7月31日(火)</p> <p>方 法：推薦・立候補制</p> <p>推薦・立候補受付期間：2010年1月8日(金)～2月8日(月) (当日消印有効)</p> <p>被推薦者・立候補者の公示：2010年2月13日(土)</p> <p>投票方法：無記名投票で郵送</p> <p>投票期間：2010年2月15日(月)～3月15日(月) (当日消印有効)</p> <p>開 票：2010年3月20日(土) (結果を即日会長へ報告、 ニューズレターNo.3に掲載)</p> <p>結果承認：6月12日(土) 於：2010年度総会</p>
---	--

5. 会長・理事の推薦・立候補に関する手続き：

推薦・立候補に関する手続きは以下の通りです。本学会の充実と発展のために会長と理事に相応しいと思われる方を候補として選出します。会員のみなさまの積極的な推薦や立候補をお待ちします。

<p>2010-11年度 会長・理事の推薦・立候補の手続き</p>
<p>1. 推薦・立候補受付期間：2010年1月8日(金)～2月8日(月)</p> <p>2. 提出書類：(選挙の告示時に公表)</p> <p>1) 推薦の場合：以下の2点を提出して下さい。なお、様式は(様式1～4)をご参照下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1名の推薦につき、推薦者2名と推薦理由 A4用紙1葉 ・本人の承諾書と簡単な経歴、主な研究業績5～10点 A4用紙1葉 <p>2) 立候補の場合：以下の2点を提出して下さい。なお、様式は(様式5、6)をご参照下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学会に関するポリシー A4用紙1葉 ・本人の簡単な経歴、主な研究業績5～10点 A4用紙1葉 <p>3. 郵送先：〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-4-3-801 安田香気付</p> <p style="text-align: center;">日本音楽表現学会事務局内選挙管理委員会に郵送のこと。当日消印有効</p>

会長・理事選挙各種様式

(様式1)

<p>2010年度会長選挙推薦用紙</p>
<p>年 月 日</p>
<p>以下の会員を、会長候補者として推薦いたします。</p> <p>被推薦者氏名 _____</p> <p>推薦理由</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div> <p>推薦者氏名(自署) _____</p> <p>推薦者氏名(自署) _____</p>

(様式2)

<p>2010年度会長選挙推薦承諾書</p>
<p>年 月 日</p>
<p>会長候補者としての推薦を承諾いたします。</p> <p>被推薦者氏名(自署) _____</p> <p>経歴</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <p>主な研究業績 (5～10点)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>

(様式3)

2010年度理事選挙推薦用紙

年 月 日

以下の会員を、理事候補者として 推薦いたします。

被推薦者氏名 _____

推薦理由

推薦者氏名 (自署) _____

推薦者氏名 (自署) _____

(様式4)

2010年度理事選挙推薦承諾書

年 月 日

理事候補者としての推薦を承諾いたします。

被推薦者氏名 (自署) _____

経歴

主な研究業績 (5~10点)

(様式5)

p.1

2010年度会長選挙立候補用紙

年 月 日

私は、会長候補者として立候補いたします。

立候補者氏名 (自署) _____

学会に関するポリシー

p.2

経歴

主な研究業績 (5~10点)

(様式6)

p.1

2010年度理事選挙立候補用紙

年 月 日

私は、理事候補者として立候補いたします。

立候補者氏名 (自署) _____

学会に関するポリシー

p.2

経歴

主な研究業績 (5~10点)

【随筆】 私の音楽表現活動の背景

橋本 悦子（雅楽器演奏・音楽教育）

私は、和楽器を取り入れた新たな学校音楽推進演奏活動、すなわち、学校音楽教育への提案とその具現化に取り組んでいる。ここでは、その活動の背景として考えていることを述べてみたい。

これまで、音楽と音楽教育の方向性は画一的ではなかったかとの反省に立ち、音楽の多様性の尊重ならびに知の再考の意味も含めて、子どもに元来備わっている多様な芸術的感性を育成するにはどうしたらよいか、という仮題意識の下に、音楽表現の舞台を築いてきた。これからの我が国の音楽の伸展には、従来からの音楽の価値に併せて、臨床的価値観も取り入れて誰もが芸術に取り組み誰もが自信を持って活躍出来るという、新たな音楽の一面も築いていくことが不可欠ではないだろうか。

・歴史が語る音楽のこれから

歴史は未来を語るうえでの重要な鍵となる。我が国の音楽の展望するに際しても、歴史を振り返ってみたい。私は諸文献を参考に、かつて以下の様に記している。

明治期、学制発布により始まった学校音楽教育の中に「唱歌」「奏楽」が設けられたが西洋音楽導入の基盤がなかった為に“当分これを欠く”とされた。—中略—我が国の音楽教育の幕開けは、先進諸国の仲間入りを意図するものであった為に欧米の模倣という形でスタートした。当初の指針とも見られた“和洋折衷のもとに国楽を養成する”つもりが次第に“西洋音楽中心”に展開していった。
(音楽学習学会紀要『音楽学習研究』2007, p.52)

今日では、世界で活躍する日本人音楽家も多く輩出され、当時の目的は達成された。これからは、音楽の興起の意味をも含めて、我が国独自の音楽の方向性を見ることも必要になるのではないだろうか。それには音楽の多様性の尊重や異文化受容により音楽表現活動を充実させ、大人と子ども、また、地域社会との連携や、理論と実践の結びつきを深めていくことがより一層重要になると私は考えている。

・社会的背景と音楽

次代の音楽の有り様を考えると、その時の社会背景を窺うことは欠かせない。最近、東京大学において

希望を研究する「希望学」が開設された。これは知識の方向を、従来の過去志向性から未来へと根本的に方向転換して、希望に向かわせるという、知の再考に基づく万人のための学問であるといわれている。一方、海外ではオバマ大統領のノーベル平和賞受賞が話題を集めている。授賞理由は「人類の希望の後押し」とされ、世界平和へ人々の願いが象徴されたものである。

では我々は、音楽の希望の実現に向かい何を為すべきであろうか。我が国の音楽が、希望ある社会づくりや国際調和に寄与されるものへと形作られていく、その手立てを一つずつ紡ぎ出していくことが重要ではないだろうか。

これらの考えを背景にして、これまで下記のような音楽表現活動を行ってきた。詳細に関しては、またの機会に説明したい。これらの事業は、学校の児童生徒、教員、演奏家、演奏団体をはじめ多くからのご支援、ご協力によって実現したものである。

二〇〇五	<p>場所： 愛知万博 瀬戸会場 題目： 響きと調和 概要： 全て木を素材とする円形式対話会場で、自然の木を素材とする西洋と東洋の音、音とアートや聴衆と演奏者の心の響き、多様な調和を演出した。</p>
二〇〇六	<p>場所： 岡崎市民会館 題目： 和の響きコンサート 概要： 和楽器と洋楽器の技巧表現、雅楽&十二単衣の平安風景。</p>
二〇〇七	<p>場所： 三重県文化センター 題目： 三重の子供と日本の歌～和楽器と歌おう～ 概要： 地元の小中学校の児童生徒と和楽器を取り入れた学校音楽推進活動。</p>
二〇〇八	<p>場所： 三重県文化センター 題目： 三重の子供と日本の歌～和と洋のしらべ～ 概要： 人と地域と音楽をテーマに、地域と子ども主体の音楽表現活動。</p>
二〇〇九	<p>場所： 四日市文化会館 題目： 日本の四季と西洋の調べ 概要： 洋楽と和楽のそれぞれの素晴らしさを、次代を担う子どもたちに繋ぐ。</p>

会員によるコンサート案内

- 河村 義子さん } 神無月コンサート
西脇 郁乃さん }
- 日 時：2009年10月22日(木)
会 場：大垣市サイトピアセンター音楽堂
趣 旨：世界で活躍するシュトゥットガルト・ゾリステンを迎えて、その音楽に触れることにより、西美濃地域の音楽文化への認識を深める。
曲 目：バッハ/音楽の捧げ物より<6声のリチェルカーレ>B.W.V.1079、2台のチェンバロのための協奏曲第1番、モーツァルト/ピアノ四重奏曲K.452、他
出演者：河村義子、西脇郁乃、シュトゥットガルト・ゾリステン、他
連絡先：河村義子 0584-78-1126
- 石場 惇史さん 軽井沢 四季の音楽だより 秋のコンサート
日 時：2009年10月23日(金) 18:30開演
会 場：軽井沢 大賀ホール
趣 旨：「音楽の鑑賞」をテーマにゲストを招き、ゲストの演奏とおしゃべりを中心にしたコンサート。ピアニスト河原千尋を招き、よく知られたピアノ曲の鑑賞をする。対象は生の音楽に触れるチャンスが少ない青少年・ファミリー。
曲 目：バッハ/インベンション、モーツァルト/トルコ行進曲、ベートーヴェン/トルコ行進曲 ソロ&連弾、エリーゼのために、テンペスト、ショパン/ノクターン
入場料：1,000円 中学生以下無料(要整理券)
連絡先：石場プロダクション 03-3991-5206 0267-41-5174
- 山崎 智さん 山崎 智バリトンリサイタル
日 時：2009年11月22日(日) 14:00開場 14:30開演
会 場：ソフィア・ザール(JR山手線、地下鉄南北線「駒込」より徒歩10分)
曲 目：J.ブラームス 歌曲集《マゲローネのロマンス》Op.33全曲(物語朗読付き)
連絡先：stimbildner0301@gmail.com 090-6489-3761(山崎)
- 赤松 林太郎さん 赤松林太郎プロデュースⅢ 記念を迎える作曲家たちとともに
一弦楽四重奏団 Quartet-issimo 発足記念一
日 時：2009年12月5日
＜昼公演＞14:00 開演、＜夜公演＞17:00 開演
会 場：わたなべ音楽堂<ベルネザール>
曲 目：シューベルト(リスト編)「ウィーンの夜会 第6番」、リスト「メンデルスゾーンの<結婚行進曲>の主題による演奏会用アレンジ」、シューマン「ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44」、他
- 澤田 まゆみさん ドビュッシー頌 Ⅲ 連弾曲 <ピアノ四手> 澤田まゆみ&須江太郎
日 時：＜東京公演＞2009年12月10日(木) 19:00
＜高崎公演＞2009年12月13日(日) 14:00
会 場：＜東京公演＞カワイ表参道 コンサートサロン「パウゼ」
＜高崎公演＞榛名文化会館 エコール 小ホール

趣 旨：ドビュッシーの連弾作品の演奏をとおしてドビュッシーの魅力に迫る
主な曲目：交響曲、放蕩息子、6つの古代碑銘、小組曲、牧神の午後への前奏曲（ラヴェル編曲）他
連絡先：info@sawadamayumi.com

江頭 義之さん

江頭義之ピアノリサイタル
日 時：2009年12月11日（金）19:00開演
会 場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
主な曲目：ベートーベン：ファンタジー g-moll Op.77、ソナタ No.23 f-moll Op. 57「熱情」、ショパン：バラード No.1 g-moll Op.23、ソナタ No.3 h-moll Op.58
連絡先：西宮市樋之池町6-17-430、Tel.& Fax. 0798-70-5251

中村 隆夫さん

札幌コダライ合唱団・合奏団 ヘンデル「メサイア」演奏会
日時と会場：2009年12月11日（金）18：30開演、札幌北一条教会
2009年12月12日（土）15：00開演、小樽マリンホール
趣 旨：バロック作品として親しまれている「メサイア」の演奏。高校合唱部や市民にも参加を呼びかけ、バロックの様式を意識した演奏を目指す、
出 演：中村隆夫(指揮)、札幌コダライ合唱団・合奏団 針生美智子(sop.)、東園巳 (Alt)、佐藤淳一(Ten.)、佐野 航(Bass)
連絡先：Tel. 011-640-5557（吉田） <http://sapkodaly.cool.ne.jp>

赤松 林太郎さん

Remedy & Science キャンドルナイト・コンサート@三番町カフェ
日 時：2009年12月21日(月) 19:00～21:00
会 場：三番町カフェ 千代田区三番町28-4 Tel.03-3265-9071、Fax.03-3265-9072
趣 旨：サイエンスと Art を、もっとカジュアルに！Remedy & Science のコーディネートするサイエンスカフェ形式のライブ。2010年に生誕200年を迎える作曲家シューマンの心と、現代に生きる人の心にある共通点を探る。「100万人のキャンドルナイト」に参加
出 演：赤松林太郎、他
主 宰：Slow Science Cafe 協力：Office La PARADE / ク・ナウカ オフィス、ほか
料 金：2,500円 キャンドル代500円含む（医療団体等への寄付金として）
事前予約 hotwarmer@gmail.com 当日カフェの受付にてパンフレットと引換
曲 目：メンデルスゾーン＝リスト「歌の翼に」、シューマン「子供の情景～ 詩人は語る」「クライスレリアーナ No.7」「幻想曲 第3楽章」「子供の情景～ トロイメライ」シューマン＝リスト「ミルテの花 献呈」
詳 細：<http://philo-natural.blog.drecom.jp/>

石場 惇史さん

軽井沢 四季の音楽だより ふゆのこんさあと
日 時：2010年2月11日（金）14:00開演
会 場：軽井沢 大賀ホール
趣 旨：「音楽の鑑賞」をテーマにゲストを招き、ゲストの演奏とおしゃべりを中心にしたコンサート。ゲストにはマリンバ奏者2名を招く。
出 演：石場惇史、他
曲 目：バッハ/半音階幻想曲とフーガ、モーツァルト/きらきら星変奏曲、ドビュッシー/月の光、モンティ/チャルダッシュ、ハチャトリアン/剣の舞
入場料：1,000円 中学生以下無料(要整理券)
連絡先：石場プロダクション 03-3991-5206 0267-41-5174

- 山本 千紗さん 山本千紗 & 竹田葵 Piano Duo リサイタル
 日 時：2010年3月14日(日) 13:30 開場
 会 場：舞子ビラ神戸 あじさいホール
 趣 旨：ピアノ連弾での初リサイタル
 曲 目：モーツァルト「アンダンテと変奏曲」、ドヴォルジャーク「伝説」ラヴェル「スペイン狂詩曲」
 連絡先：079-247-7418 (山本)
- 栗原 詩子さん Two Leaves First Concert
 期 日：2010年3月7日(日) 15:00
 会 場：西南学院大学チャペル (主催：西南学院大学)
 趣 旨：若手演奏家(女声アカペラ合唱団)の初めての単独コンサートを支えることによって地域に、良質・廉価な音楽文化を提供する。
 曲 目：「おいのりのうた」「にほんのうた」「道城美羽のうた」「木下牧子のうた」など
 連絡先：栗原詩子 080-3961-7654 musiclef@gmail.com
- 越後 小百合さん 日本の歌・世界の歌による演奏会「歌の翼にコンサート」
 日 時：2010年3月26日(金) 18:30
 会 場：室蘭市市民会館(室蘭市輪西町2-5-1 Tel. 0143-44-1113)
 趣 旨：歌曲の演奏において、言葉と音楽の美しさをいかに伝えるかを探求する。
 特集として、北海道出身の白川雅樹氏の心温まる作品を取り上げる。
 曲 目：メンデルスゾーン；歌の翼に、秋の歌、近衛秀麿；ちんちん千鳥、
 特集～白川雅樹の歌の世界～；おおきくなったら、星のしずく、やまのぼり、他
 出 演：越後 小百合(Sop.)、他
 連絡先：〒050-1176 室蘭市知利別町4-31-1 越後 小百合 Tel.& Fas. 0943-47-2636

会 員 に よ る 新 刊 案 内

時得 紀子さん(編著)『総合表現活動の理論と実践』
 教育芸術社 2009年3月 定価1,000円(本体953円+消費税)

会 員 か ら の 寄 贈

石場惇史さんプロデュースの3枚のCDの寄贈がありました。いずれも、ダンス用に編曲された曲集(オーケストラ演奏)です。各曲には、ダンスの種別が明記されています。

- ・「ESPAÑA CAÑI」、1999、SALA3801、¥3,800
- ・「Mozart Dance」、2006、SALA3504、¥3,500
- ・「Beethoven Dance」for ELISE、2007、SALA3505、¥3,150(税込み)

制作・販売：(株)石場プロダクション 03-3991-5206



日本音楽表現学会論文集『音楽表現学のフィールド（仮）』の出版に向けて

—進捗状況のご報告—

日本音楽表現学会「論文集」編集委員会委員長 杉江 淑子

東京堂出版から発行されることが正式決定し、2010年度中の出版を目指して作業を進めています。

第Ⅰ部「音楽における異文化受容」については、本学会第2～6回大会のパネルディスカッション企画者及びパネリストの皆様方により、12月末日の締切を目指してご執筆を進めていただいているところと存じます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

第Ⅱ部「音楽表現学の可能性」の公募論文（アブストラクト募集）には、予想を超える多くの応募をいただき、編集委員一同、嬉しい悲鳴を上げました。いずれも魅力的なテーマ・構想を含むものであり、当初予定の掲載本数5本に絞り込むことが難しく、白熱する議論の中で、分野、内容のバランスを考慮しながら、6本の論文を採択することになりました。採択論文の本原稿の締切は11月末日です。このニューズレターが発行される頃には、原稿が編集委員会に届くこととお待ちしております。なお、ご応募くださいました皆様には、紙上を借りて心より御礼を申し上げます。



事務局からのさまざまなお知らせとお願い

E-mail : music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

1. 『音楽表現学』Vol. 7 刊行

『音楽表現学』Vol. 7をお届けいたします。機関誌の充実は学会の成長の証しです。今後ますますの発展が期待されます。Vol. 8の投稿締め切りは2010年5月31日です。ご投稿をお待ちいたします。

2. 会費納入について

○ 年会費未納の方には、今回「未納年会費納入のお願い」を同封しています。行き違いご送金済みの場合はご容赦ください。

学会は皆様方の年会費で運営されております。機関誌の発行、大会の開催などさまざまな活動に支障をきたすことのないよう、速やかな納入をお願いいたします。今年度の総会において会則改定が認められ、3年以上年会費滞納の場合には「除名」が適用されることとなりましたので、ご注意ください。

- 年会費については『音楽表現学』巻末に「経費関係細則」を掲載しました。そちらをご参照下さい。なお、学生会員は、学部生に限られます(会則第5条)。
- 納入は必ず郵便振替でお願いします。無意識滞納対策の一助として、納入後はただちに、右側の「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の時は「ご利用明細票」)に、納入年度のメモをお残しいただ

くことをお勧めいたします。なお、学会では原則として改めての領収書発行はいたしておりません。

- ATMでの納入をお勧めいたします。会計上も助かります。(窓口:120円、ATM:80円)

3. 正しいメールアドレスをお届け下さい!

事務局では、さまざまなお知らせをメール配信いたしておりますが、リターン・メールが現在のところ16あります。「最近何も届いていない」という場合、お届けのアドレスが古い可能性があります。事務局にお問い合わせ下さい。

4. 『音楽表現学』バックナンバー購入方法

ご希望の方はメール等で事務局までお申し込みください。以下の代金は、到着後郵便振替でお願いします。

会員価格：Vol.2～Vol.3は1部1500円+送料、

Vol.4～Vol.6は1部3000円+送料、

一般価格：Vol.2～Vol.3は1部3000円+送料、

Vol.4～Vol.6は1部3500円+送料、

大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

なお、Vol.1は残部がありません。

5. ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見、掲載記事に関するご意見などを掲載します。テーマは何に関してでも自由です。皆様の投稿をお待ちします。

- ・研究ノート、随想など：1600字以内
- ・コンサート案内：学会後援（申請については後述）のものを掲載します。
- ・新刊案内：会員による刊行物の紹介を行います。上梓されたら購入方法なども含めてお知らせください。
- ・その他：所属されている他学会の情報などもお寄せください。
- ・投稿受付は随時、事務局宛ワードの添付書類でお願いします。

6. 学会の会員サポート制度をご活用下さい。

- ・研究発表の場の一つが機関誌『音楽表現学』です。本学会は「日本学術団体」の広報協力団体です。『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査

読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

- ・大会の口頭発表は、文字だけでは伝えられない音声を用い、これまでの研究を発信できる場、それを参加者一同が共有できる場です。会員自身の音楽表現の創意や工夫、実践を披露し、その妥当性を問うワークショップなど、日本音楽表現学会ならではの生の音楽表現を含めた発表の機会をご利用下さい。
- ・コンサートの後援とご案内：会員による各種演奏、ワークショップ、イベントなどの活動を学会は「後援」します。最終頁の「後援願」の様式でお寄せください。

7. 各種書式

以下の書式を参考の上、メール本文貼り付け、またはワード文書添付、あるいは郵送で事務局まで送付してください。

(1) 「入会申込書」書式

入 会 申 込 書	
日本音楽表現学会に入会を申し込みます。	
年 月 日	
氏 名 (ふりがな) :	_____
専門分野 :	_____
住 所 :	〒 _____
所 属 :	_____
連絡の宛先 :	〒 _____
連絡先電話番号 :	_____
連絡先 Fax. 番号 :	_____
e-mail アドレス :	_____
推薦者名 (学会員・1名) :	_____
音楽表現学会に期待されること。ご意見等 :	_____

【備考】

学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に参ります。

お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

(2) 「退会願」書式 :

退 会 願	
〇〇〇〇年〇月〇日	
日本音楽表現学会 会長 〇〇〇様	
このたび、日本音楽表現学会を退会したいので「退会願」を提出いたします。 なお、今年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。	
氏 名 :	_____
連絡先 :	_____
連絡先電話番号 :	_____
e-mail アドレス :	_____
退会理由 :	_____

(3) 「後援願」書式

次頁の「後援願」の書式を参考の上、メール本文に貼り付け、ワード文書添付、または郵送で事務局まで送付してください。「後援願」が受理されれば、「後援願受理のお知らせ」文書がお手元に届きます。ポスターやチラシの印刷に後援名義が間に合うよう、ゆとりを持って「後援願」をお送り下さい。また、受理されたコンサート等は学会 HP に順次掲載します。

コンサート等後援願 日本音楽表現学会の後援をお願いします。		年 月 日
氏 名：	_____	
所 属：	_____	
コンサート等の名称：	_____	
コンサート等の趣旨：	_____	
主な内容：	_____	
期 日：	_____	
会 場：	_____	
連 絡 先：	_____	

日本音楽表現学会第8回大会のご案内

会場：京都女子大学（京都市東山区今熊野北日吉町 34）

期日：2010年6月12日（土）－13日（日）

JR「京都駅」

- 烏丸口より市バス約10分
「東山七条」で下車、徒歩10分
- 八条口プリンセスラインバス約10分
「京都女子大学前」で下車

日本音楽表現学会 役員名簿	編集後記
<p>会 長：奥 忍</p> <p>副 会 長：佐々木正利 安田 香</p> <p>理 事：権藤 敦子 谷口 雄資</p> <p style="padding-left: 20px;">土門 裕之 柳井 修</p> <p>会 計 監 事：加藤 晴子 長岡 功</p> <p>編集委員長：小西 潤子</p> <p>委 員：伊野 義博、河本 洋一</p> <p style="padding-left: 20px;">木下 千代、小畑 郁男</p> <p style="padding-left: 20px;">佐野 仁美</p>	<p>音楽表現丸は船出してまだ日が浅いため、選挙特集となるニューズレター第2号出版にあたり、理事会では選挙規定をはじめとした様々な事案について議論を深めてきました。経験の浅い私はその過程で再認識できたことは、多様な価値観を提示し、互いに理解しようとする真摯な舵取りに務めようとする艦長をはじめとした経験豊富な理事の存在です。正確な位置と進むべき方向を的確に感知し、情報分析を緻密に行いながらの協働作業から学ぶものはとても多く、私にとって貴重な学びとなっています。</p> <p>間もなく、新しい海図を手にした経験豊富な方々がブリッジ士官として名乗りをあげて下さるでしょう。貴重なご意見を糧に新たな価値観と学びを深め合い、荒波をしっかりと乗り越えていけますよう、微力ながら努力邁進したいと思います。</p> <p style="text-align: right;">（土門裕之）</p>